

町知名度アップにこの一策

質問Ⅱ国道194号沿いにライダーズハウスを
答弁Ⅱ休廃校舎の活用で検討



山岡 勉 議員

当町の売りは仁淀ブルーや山岳観光。

そして、ブルーラインに沿うように国道194・439号が中山間地を走り、ライダーやサイクリストに人気のコースとなっており県内外から訪れている。

この人たちにとって、ライダーズハウスは格好の宿泊・休息の場となる。

既存施設の転用・併用により、町の知名度アップの一策として開設できないか。

池田町長

ライダーやサイクリストに人気のコースであること

は承知している。

この方々向けに宿泊施設を整備し、滞在してもらえば情報を多く提供することになり、町の知名度を上げるひとつの案ではある。

国道194・439号沿いの休廃校舎が活用できるかなど調査してみたい。

そして、運営や騒音などの課題について地域の合意が得られれば、運営を地区に委託し地元食材を提供する施設などの開設が可能ではないか。検討してみたい。



国道194号

固定資産税の算定

質問Ⅱ依命通達の効力は
答弁Ⅱ評価基準の趣旨に沿う

山岡議員

平成12年の自治事務次官通達により、固定資産評価基準とされる依命通達は効力を失ったのではないかと。依命通達に基づく評価に問題は無い。

別役町民課長

依命通達は平成12年1月に、地方分権の趣旨に立脚した通知・通達の整理を行うことで廃止された。

しかし、この依命通達は現在でも固定資産評価基準の解釈を示すものとして位置付けられており、依命通達に沿う解釈適用は、固定資産評価基準の趣旨に沿うものと考えている。

より良い教育環境づくり

質問Ⅱ学校現場いじめ対策の強化を
答弁Ⅱ子どもたちの安心・安全を第一に

山岡議員

文科省の2016年度調査では子ども1000人当たりのいじめ認知件数は、全国平均で23.8件で都道府県によりバラツキがあるとの調査結果が公表された。

いじめの被害者は、楽しいはずの学校現場が苦痛の場となってしまふ。

「いじめ対策の強化」についての取り組みと現状は。

藤岡教育長

対策については、各学校で策定の「いじめ防止基本方針」の下、全教職員が「いじめは絶対に許されない」との認識を共有し組織的な対策強化を行っている。

日常的な実態把握を行いながら、いじめを認知した場合は学級担任や生徒指導教員など関係者が迅速に組織的に対応するなど、適切

な支援と指導を行う体制となっている。

教育委員会としても、児童・生徒の健やかな成長を実現するためにも、すべての子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりに努めていきたい。